

第6学年 国語 評価規準表(おおむね満足である:B)

狛江第六小学校

観点 単元等	関心・意欲・態度	話す・聞く力	書く力	読む力	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する 事項	C評価の児 童に対する 手立て
つないで、つないで、一つのお話 ◎話し手の一文の内容を捉えながら聞き、自分の言葉で続きのお話を作ることができる。(話・聞(1)エ、伝国(1)イ(カ)) ■グループで話し合い、一つのお話を作る。 支度 ◎詩を読んで感じたことや考えたことが伝わるように音読することができる。(読(1)ア) ○詩における比喩や反復の表現に気づくことができる。(伝国(1)イ(ケ)) ■詩を味わう。 カレーライス ◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、自分の考えをまとめることができる。(読(1)エ) ○教材文を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを上げたり深めたりすることができる。(読(1)オ) ・自分の感想を表すために、的確な言葉を用いることができる。(伝国(1)イ(カ)) ■感想を書く。	【関】お話を作って話すことに興味をもち、積極的に参加しようとしている。 【関】詩の情景を想像しながら、自分なりに6年生1年間の学習に対しての緊張や期待を感じて音読しようとしている。 【関】自分の経験などと重ね合わせながら、登場人物の心情を理解し、感想をもとうとしている。	【話・聞】話し手の意図を捉えながら聞き、話す事柄の順序を考えて続きのお話を作ることができる。		【読】「心の支度」とはどのようなことか、考えたことが伝わるように工夫して音読している。 【読】 ・登場人物どうしの関わりと心情の変化を捉え、感想をまとめている。 ・友達と感想を交流することにより、自分の考えを深めている。	【言】前の人の言葉を受け、それに合うような言葉を考えてお話を作っている。 【言】反復や比喩など、表現の工夫に気づいている。 【言】自分の感想を表すことができる言葉を選んで、文章を書いている。	○登場人物のせりふや情景描写から、自分の経験と結びつけて考えるように助言する。

4  
月

4月	<p><b>漢字の広場①</b> 1時間（書①）</p> <p>◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。（伝国(1)ウ(ア)）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書いた文を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。（書(1)オ）</li> </ul> <p>■絵を説明する文章を書く。</p> <p><b>春のいぶき</b> 2時間（書②）</p> <p>◎「春」を表す言葉とそれらがもつ意味を知り、その語感、使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。（伝国(1)イ(カ)）</p> <p>○「春」を感じるものから書くことを決め、表現の効果などを確かめたり、工夫したりして文章を書くことができる。（書(1)ア・オ）</p>	<p>【関】絵を見て、様子を想像しながら文を書こうとしている</p> <p>【関】「春」を感じるものを探そうとしている。</p>		<p>【書】表現の効果などを確かめている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「春」を感じるものを一つ取り上げ、200字程度の文章を書いている。</li> <li>「春」を感じる表現やその効果を工夫している。</li> </ul>		<p>【言】5年生までに習った漢字を正しく使って、文を書いている。</p> <p>【言】「春」を表す言葉の語感、言葉の使い方について関心をもっている。</p>	<p>○繰り返して音読し、作品の面白さや、現代と違う表現方法に興味をもたせる。</p>
----	---	--	--	--	--	---	---

5月	<p>笑うから楽しい 時計の時間と心の時間 7時間（読⑦）</p> <p>◎筆者の主張と事例を利用して、考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。（読(1)オ）</p> <p>○事実と感想・意見などの関係を押さえ、筆者の意図を捉えながら、自分の考えを明確にして読むことができる。（読(1)ウ）</p> <p>・文章には、いろいろな構成があることを理解することができる。（伝国(1)イ(キ)）</p>	<p>【関】 筆者の意見に関心を持ち、自分の考えをもとうとしている。</p>			<p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張と根拠を読み取り、自分の経験を振り返り、自分の考えをもとうとしている。</li> <li>・発表し合うことで、友達と自分との共通点や相違点を明らかにし、自分の考えを深めている。</li> <li>・筆者の主張を利用して、自分の考えを具体例とともに発表できている。</li> </ul>		
6月	<p>学級討論会をしよう 【コラム】 伝えにくいことを伝える 8時間（話・聞⑧）</p> <p>◎互いの立場や意図をはっきりさせながら、疑問点を整理して自分の意見を言ったり、質問をしたりして、討論することができる。（話・聞(1)オ）</p> <p>○討論会の話題に沿って、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。（話・聞(1)エ）</p> <p>・討論会における言葉の使い方などについて関心をもつことができる。（伝国(1)イ(カ)）</p> <p>■討論会をする。 ☆互いの主張・根拠を聞き合い、対立点を調整しながら話し合う（社会・特別活動）</p>	<p>【関】 討論の形式や話題に興味を持ち、積極的に参加しようとしている。</p>	<p>【話・聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話題に対する肯定・否定両方の立場で自分の考え方、感じ方をもっている。</li> <li>・討議の順序や進め方の調整、対立の調整などが必要なことを理解し、話し合っている。</li> <li>・自分の主張・根拠と対比しながら聞いている。</li> </ul>			<p>【言】 意見や質問のよりよい述べ方や、言葉の選び方に関心をもっている。</p>	

<p><b>漢字の形と音・意味</b> 2時間（伝国②） ◎漢字を組み立てている部分には、音を表すものや意味を表すものがあることを理解することができる。（伝国(1)ウ(ア)・(イ)）</p> <p><b>私と本</b> 森へ 【コラム】施設を利用して、本の世界を広げよう 5時間（読⑤） ◎これまでの本との関わり方を振り返り、グループで発表し合うことで、今後の読書生活の幅を広げることができる。（読(1)オ・カ） ・自分の考えを明確に表現するため、語句と語句の関係を理解し、文章全体の構成の効果を考えることができる。（伝国(1)イ(オ)・(キ)） ■本を推薦する文章を書く。 ☆自然の美しさを感じ、生き物への愛を感じる心を養う題材（道徳） ☆読書活動（図書館活用）</p>	<p><b>【関】</b> これまでの読書体験を振り返り、本との関わりについて考えようとしている。</p>			<p><b>【読】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本を読んで考えたことを、友達と伝え合い、友達の体験や本との関わり合いに学んでいる。</li> <li>・本を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり、深めたりしている。</li> <li>・今までの読書体験を振り返って、その本と自分の関わりから「いちばん心に残っている本」を選んで推薦文を書いている。</li> </ul>	<p><b>【言】</b> 自分の考えを明確にして、効果を考えて推薦の文章を書いている。</p>	
<p>相手の意図を聞き取り、自分の主張を伝えよう</p>	<p>○取り上げた話題をもとに討論することに</p>	<p>○討論会で、相手の主張を聞きながら自分の主</p>				

	<p>[学級討論会をしよう]</p> <p>○討論会で、相手の主張を聞きながら自分の主張を明確にし、説得力のある話し方をする。</p>	<p>関心を持ち、すすんで話し合おうとしている。</p>	<p>張を明確にし、説得力のある話し方をしている。</p>				
6月	<p>町の良さを伝えるパンフレットを作ろう</p> <p>「ようこそ、わたしの町へ」</p> <p>○読む人に分かりやすいように全体の構成を考えてパンフレットを作る。</p>	<p>○パンフレットを作ることに関心を持ち、すすんで材料を集め、分かりやすいパンフレットを作ろうとしている。</p>		<p>○読む人に分かりやすいように全体の構成を考えてパンフレットを作っている。</p>			<p>○引用したり、写真や図、絵を用いたりしてパンフレット作りを楽しめるよう、ワークシートを用いて工夫させる。</p>
	<p>漢字の広場／5年生で習った漢字②</p>	<p>○漢字を書くことに関心を持ち、すすんでその漢字の意味や使い方を考えて、文や文章の中で書こうとしている。</p>					

7 月	<p>夏のさかり 2時間（書②）</p> <p>◎「夏」を表す言葉を知り、それらの言葉がもつ語感、使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。（伝国(1)イ(カ)）</p> <p>○「夏」から想像する言葉を集め、表現を工夫して俳句を作ることができる。（書(1)ア・カ）</p> <p>■俳句を作る。</p>	<p>【関】「夏」を感じるものや風景を探そうとしている。</p>		<p>【書】俳句の形式を知り、「夏」を感じるものや風景の俳句を作っている。</p>		<p>【言】「夏」を表す言葉の語感、言葉の使い方について関心をもっている。</p>	<p>○言葉集めの活動を通して、語彙を広げる。</p>
	<p>漢字の形と音・意味</p> <p>○漢字には、音を表す部分と意味を表す部分があることを理解し、文の中で正しく使う。</p>	<p>○漢字の同じ部分が同じ音やつながりのある意味を表すことに関心をもち、すすんでそれらの部分について調べようとしている。</p>					<p>○漢字の学習と重ねて、辞書を多く活用し、意味と漢字を合わせて覚えるようにする。</p>
	<p>聞いて楽しもう</p>	<p>○「河鹿の屏風」に関心</p>			<p>○人物や場面の様子を</p>		<p>○親しみや</p>

<p>[河鹿の屏風]</p> <p>○人物や場面の様子を想像しながら昔話の読み聞かせを聞き、情景や人物像を思い浮かべる。</p>	<p>をもち、すすんで読み味わい、昔から語り継がれる昔話などに親しもうとしている。</p>			<p>想像しながら昔話の読み聞かせを聞き、情景や人物像を思い浮かべている。</p>		<p>すい昔話について、内容の大体をつかませる。</p>
<p>季節の言葉</p> <p>せんねん まんねん 1時間 (読①)</p> <p>◎詩を読んで感じたことや考えたことが伝わるように音読することができる。(読(1)ア)</p> <p>○詩における反復表現の工夫に気づくことができる。(伝国(1)イ(ケ))</p>	<p>【関】詩の表現を意識して、自分なりに工夫して読もうとしている。</p>			<p>【読】自分の印象や自分なりに大切だと思うところが伝わるように音読している。</p>	<p>【言】反復表現の工夫に気づいている。</p>	
<p>短歌を作ろう</p> <p>[たのしみは]</p> <p>○短歌の言葉のリズムや内容を感じ取り、形式を知り表現を工夫して短歌を書く。</p>	<p>○短歌や俳句を読むことに関心をもち、好きな短歌・俳句を音読したり、すすんで作ろうとしたりしようとしている。</p>		<p>○短歌の言葉のリズムや内容を感じ取り、形式を知り表現を工夫して短歌を書いている。</p>			<p>○友達の俳句を鑑賞することを通して、イメージをもたせる。</p>
<p>漢字の広場 / 5年生で習った漢字③</p>	<p>○漢字を書くことに関心をもち、すすんで</p>					

<p>○5年生で習った漢字の読み・意味が分かり、その漢字を文や文章の中で正しく使う。</p>	<p>その漢字の意味や使い方を考えて、文や文章の中で書こうとしている。</p>					
<p>自分の考えを明確に伝えよう          未来がよりよくあるために          [資料] 平和のとりでを築く          11時間(書⑦, 話・聞④)          ◎話し合いで深めた考えをもとに、構成を工夫して、自分の意見を明確に伝える文章を書くことができる。(書(1)イ, 伝国(1)イ(ア))          ◎互いの考えの違いや意図をはっきりさせ計画的に話し合うことができる。(話・聞(1)オ)</p>	<p>【関】「未来がよりよくあるために」どのようなことをすればいいのか、友達の見聞も聞いて考え、自分の考えを書こうとしている。</p>	<p>【話・聞】互いの立場や意図をはっきりさせながら、質問や助言を入れて、計画的に話し合っている。</p>	<p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集のため、学校図書館やインターネットなどで資料を調べ、本や文章を読み比べて必要な情報を要約したり、引用したりして用いている。</li> <li>・自分の考えや意見とは異なる立場に立つ他者の存在を意識し、構成を工夫して書いている。</li> <li>・注釈や引用などを用いて自分の意見が説得力をもつように書いている。</li> </ul>		<p>【言】書き言葉と話し言葉の違いに注意しながら意見文を書いている。</p>	<p>○メモを作り、考えをまとめておく。</p>



	<p>[熟語の成り立ち]</p> <p>○熟語の構成を理解し、文の中で正しく使う。</p>	<p>○熟語の成り立ちに関心を持ち、すすんでその意味を考えたり辞典で調べたりしようとしている。</p>					
<p>1 0 月</p>	<p>[生活の中の言葉]</p> <p>○敬語の種類を理解し、相手や場面に応じて使い分け、正しい敬語を使う。</p>	<p>【関】 敬語や世代による言葉の違いを中心に、自分の言語生活を見直そうとしている。</p>				<p>【言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語の使い方を確認しながら例文を適切な表現に直している。</li> <li>・日常生活の中から、世代により言葉が違っている例を見つけ出している。</li> </ul>	

<p>作品の世界を深く味わおう やまなし</p> <p>[資料] イーハトーヴの夢</p> <p>◎作品の特徴や作者の思いを捉え、自分の感じたことが伝わるように朗読することができる。(読(1)ア・イ)</p> <p>○場面についての描写を捉え、作品の中で使われている表現を味わいながら、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。</p> <p>(読(1)エ, 伝国(1)イ(カ)・(キ)・(ケ))</p>	<p>○情景や登場人物の心情や様子を想像しながら読むことに興味をもち、すすんで作者の思いを考えながら物語を読もうとしている。</p> <p>○「イーハトーヴの夢」について興味をもち、すすんで宮沢賢治の考え方や生き方について考えながら読もうとしている。</p>			<p>○それぞれの場面の谷川の底と、底から見る水中の様子や、かにの子どもたちの様子や心の動きを読み取っている。</p> <p>○宮沢賢治の生き方や考え方について感想をもっている。</p> <p>○「やまなし」「&lt;資料&gt;イーハトーヴの夢」を比べて読み、宮沢賢治の作品や宮沢賢治の生き方に対する感想を読み合い、宮沢賢治の考え方に対する考えを書いている。</p>	<p><b>【言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語のリズムや表現のもつ美しさについて興味をもちながら、物語を朗読している。</li> <li>・比喩などの表現上の特色について気づいている。</li> </ul>	<p>○音読を通して本文の理解を深める。</p> <p>○情景が描かれている文を抜き出し、人物の心情と結びつけて考える</p>
---	---	--	--	--	---	---

1 0 月	<p>秋の深まり 2時間（書②） ◎秋を感じる言葉を見つけて短歌を創作することができる。（書(1)ア，伝国(1)イ(カ)） ・短歌を発表し，表現のしかたに着目して助言し合うことができる。（書(1)カ）</p>	<p>【関】 季節を表す言葉などに興味をもっている</p>		<p>【書】 ・季節を表す言葉を集め，短歌を創作している。 ・短歌を発表し合い，表現のしかたに着目して助言し合っている。</p>		<p>【言】 「秋」を表す言葉の語感，言葉の使い方について関心をもっている。</p>	
-------------	--	-------------------------------	--	--	--	--	--

<p>『鳥獣戯画』を読む [コラム] 絵画や写真を見るときは 6時間 (読⑥)</p> <p>◎絵と文章との関係を押さえて筆者の考え方を捉え、自分の考えを明確にしながらか読むことができる。(読(1)ウ, 伝国(1)イ(オ))</p> <p>○文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(読(1)オ)</p>	<p><b>【関】</b> 絵巻物に対する筆者の見解に興味をもち、文章を読もうとしている。</p>	<p><b>【読】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・筆者がどのようなことを根拠として考えを述べているのかを捉えている。</li><li>・筆者の意図と表現の工夫との関連について考えている。</li><li>・自分と他者とのものの見方や感じ方の共通点と相違点を明らかにし、自分の考えを深めている。</li></ul>	<p><b>【言】</b> 文末表現や助詞の使い方など、語句に着目して読み、語句と語句との関係を理解している。</p>
---	---	--	---

この絵、私はこう見る  
6時間（書⑥）  
◎表現の効果を確かめたり工夫したりして書くことができる。（書(1)オ）  
○絵から感じたことの中から書くことを決め、全体を見通して事柄を整理することができる。（書(1)ア）  
○事実と感想、意見などを区別するとともに、必要に応じて絵の様子を簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。（書(1)ウ、伝国(1)イ(オ)）

【関】 絵画に興味をもち、自分なりに絵から読み取ったことを伝えようとしている。

【書】  
・絵の中にある情報を、適切に区別したり関連づけたりしている。  
・絵から読み取ったことと感じたことを区別して書いている。  
・自分の見方や感じ方が伝わるように、表現を工夫して書いている。

【言】 語句と語句との関係を考えながら、文章の中で使っている。

<p>漢字を正しく使えるように</p> <p>[コラム] 覚えておきたい言葉</p> <p>2時間 (伝国②)</p> <p>◎送り仮名や仮名遣いに注意して漢字を正しく書くことができる。(伝国(1)イ(ウ)・ウ(ア))</p>	<p><b>【関】</b> 送り仮名や仮名遣いを確かめながら、漢字を書こうとしている。</p>				<p><b>【言】</b> 送り仮名や仮名遣いを確認しながら、適切な表現に直している。</p>	
---	---	--	--	--	---	--

<p>伝えられてきたもの      狂言 柿山伏      柿山伏について      5時間 (読⑤)</p> <p>◎「柿山伏」を，役割を      決めて自分の思いが伝      わるように音読するこ      とができる。(読(1)      ア，伝国(1)ア(ア))</p> <p>○昔の人のものの見方や      感じ方を知ったり，時      間の経過による文字や      言葉の変化に気づいた      りすることができる。      (伝国(1)ア(イ)・イ      (イ)・ウ(イ))</p>	<p><b>【関】</b> 日本の伝統文化      に興味や親しみをも      とうとしている。</p>			<p><b>【読】</b> 狂言独特の表現      や調子のおもしろ      さを意識し，楽しみ      ながら声に出して      読んでいる。</p>	<p><b>【言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代に通じる昔の          人のものの見方や感          じ方について気づい          たことを発表してい          る。</li> <li>・現代と違う文字や          言葉遣い，言い回し          に気づいている。</li> </ul>	
<p>日本で使う文字      2時間 (伝国②)</p> <p>◎仮名および漢字の由      来，特質などについて      理解できる。(伝国(1)      ウ(イ))</p>	<p><b>【関】</b> 日本で使うさま      ざまな文字について      理解しようとしてい      る。</p>				<p><b>【言】</b> 仮名及び漢字      の由来，日本語の特      質などについて理解      している。</p>	

<p>漢字の広場⑤ 1時間（書①） ◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア)) ・書いた文章を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。(書(1)オ)</p>	<p>【関】絵を見て、様子を想像しながら文章を書こうとしている。</p>			<p>【書】表現の効果などを確かめている。</p>	<p>【言】5年生までに習った漢字を正しく使って、文や文章を書いている。</p>	
---	--------------------------------------	--	--	---------------------------	--	--



<p>表現を選ぶ 3時間（書②，伝国①） ◎話し言葉と書き言葉の違いに気づくことができる。（伝国(1)イ(ア)） ○語句の係り方や照応のしかたなどに気づくことができる。（伝国(1)イ(キ)） ・目的に応じて書き言葉に表し，表現のしかたや構成に着目して助言することができる。（書(1)カ）</p>	<p><b>【関】</b>話し言葉と書き言葉の違いに興味をもち，場面や相手に応じた表現をしようとしている。</p>		<p><b>【書】</b>書き言葉に表して，表現のしかたに着目して助言し合っている。</p>		<p><b>【言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉のそれぞれの特徴を理解している。</li> <li>・構成や内容を考え，適切な文を書いている。</li> </ul>	
---	---	--	--	--	---	--

<p>天地の文 1時間（伝国①） ◎親しみやすい古文について、内容の大体を知り、音読することができる。（伝国(1)ア(ア)） ○昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。（伝国(1)ア(イ)）</p>	<p>【関】昔の人のものの見方や感じ方を考えようとしている。</p>				<p>【言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古文の内容の大体を知り、特徴あるリズムを感じながら音読している。</li> <li>・昔の人のものの見方や感じ方を理解している。</li> </ul>	
<p>未知へ 1時間（読①） ◎優れた叙述を味わいながら、自分の気持ちと重ねて音読したり、考えたりすることができる。（読(1)ア・エ、伝国(1)イ(ケ)）</p>	<p>【関】詩の内容や表現のおもしろさを楽しみながら読もうとしている。</p>		<p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詩と自分の気持ちとを重ねて音読している。</li> <li>・優れた叙述に着目し、自分と重ねて考えている。</li> </ul>		<p>【言】比喩や反復の効果に気づいている。</p>	

<p>自然に学ぶ暮らし 6時間 (読⑥)</p> <p>◎事実と感想・意見などとの関係を押さえながら文章の内容を的確に押さえ、筆者の考えと比べながら自分の考えを明確にすることができ。 (読(1)ウ, 伝国(1)イ(キ))</p> <p>○文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 (読(1)オ)</p>	<p><b>【関】</b> 自然の仕組みとそれを暮らしに生かす筆者の考え方に興味をもって、文章を読もうとしている。</p>			<p><b>【読】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• どのような事例や根拠を用いて、どのような考えを述べているのかを捉えている。</li> <li>• 筆者の考えについて、経験や知識と照らし合わせて、自分の考えをまとめている。</li> </ul>	<p><b>【言】</b> 目的に応じて文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。</p>	
--	---	--	--	--	--	--

<p>漢字の広場⑥ 1時間（書①） ◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア)) ・書いた文章を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。(書(1)オ)</p>	<p>【関】絵を見て、出来事や気持ちを想像し、分かりやすい文章を書こうとしている。</p>		<p>【書】表現の効果などを確かめている。</p>		<p>【言】5年生までに習った漢字を正しく使って、文や文章を書いている。</p>	
---	---	--	---------------------------	--	--	--

<p>1 月</p>	<p>忘れられない言葉 6時間（書⑥） ◎経験から書くことを決 め、そこから自分の考 えや気持ちを掘り起こ し、書く事柄を整理す ることができる。（書 (1)ア） ◎事実と感想・意見など を区別するとともに、 意図に応じて簡単に書 いたり詳しく書いたり することができる。（書 (1)ウ, 伝国(1)イ(キ)）</p>	<p>【関】随筆という文章 様式を知り、自分ら しさの表れた随筆を 書こうとしている。</p>			<p>【書】 ・家庭, 学校, 社会な ど広い範囲から書 くことを決めてい る。 ・出来事などの描写と 自分の気持ちや感 想を書き分けてい る。</p>	<p>【言】随筆という文 章様式があること を理解している。</p>	
----------------	---	---	--	--	--	--	--

<p>カンジー博士の山登り 2時間 (伝国②)</p> <p>◎漢字クイズを通して、漢字の知識を確認することができる。(伝国(1)ウ(ア))</p> <p>○紛らわしい送り仮名に気をつけて、読んだり書いたりすることができる。(伝国(1)イ(ウ))</p>	<p><b>【関】</b> 漢字に興味をもち、漢字の知識や使い方を確かめようとしている。</p>				<p><b>【言】</b> 漢字の知識を確かめたり、紛らわしい送り仮名の違いを確かめたりしている。</p>	
<p>春を待つ冬 2時間 (書②)</p> <p>◎冬を感じる言葉を知り、手紙を書くことができる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(カ))</p> <p>・自分の思いが伝わるように表現の効果を工夫することができる。(書(1)オ)</p>	<p><b>【関】</b> 季節を表す言葉などに興味をもっている。</p>			<p><b>【書】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を表す言葉を使って、今の自分の思いを伝える手紙を書いている。</li> <li>・表現の効果について確かめたり、工夫したりしている。</li> </ul>	<p><b>【言】</b> 「冬」を表す言葉語感、言葉の使い方について関心をもっている。</p>	

2月	<p>海の命 6時間（読⑥）</p> <p>◎教材文を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。（読(1)オ）</p> <p>○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。（読(1)エ, 伝国(1)イ(キ)）</p>	<p>【関】自分の経験や体験と重ねながら、作品に描かれている登場人物のつながりや心情を読み取ろうとしている。</p>			<p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地の文から情報を読み取るとともに、相互の会話や行動の奥にある機微を捉えている。</li> <li>・人物や出来事について、その関係や心情の変化に注意しながら読み取り、自分の感想の理由をまとめている。</li> <li>・人物の生き方についての考えを交流し、自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul>	<p>【言】物語の構成を理解している。</p>	
----	---	--	--	--	---	-------------------------	--

今、私は、ぼくは  
[コラム] 効果的な資料  
を提示する

6時間 (話・聞⑥)

◎今思うことを伝えるた  
めに、必要な資料を準  
備し、話の構成を工夫  
しながら、場に応じた  
適切な言葉遣いで話す  
ことができる。(話聞  
(1)ア・イ・ウ、伝国(1)  
イ(キ)・(ク))

○話し手の思いを受け止  
めながら聞き、自分の  
思いや体験と比べなが  
ら感想をまとめること  
ができる。(話・聞(1)  
エ)

**【関】** 伝えたいことを  
決め、それが聞き手  
によく分かるように  
内容をまとめて話そ  
うとしている。

**【話・聞】**

・伝えたい話題を決め、  
必要な資料を準備してい  
る。

・適切に内容を組み立て、  
印象深く伝わるように話  
し方を工夫して、スピー  
チしている。

・共通語と方言を使い分  
けるなど、相手や場に応  
じた言葉遣いをしてい  
る。

・話し手が、何を、誰に、  
どんな思いで伝えようと  
しているかを聞してい  
る。

**【言】** 場に応じて、  
適切な敬語を使っ  
ている。



3月	<p>中学校へつなげよう 生きる 生き物はつながりの中に かなえられた願い——日 本人になること 5時間（読⑤）</p> <p>◎教材文を読んで考えた ことを発表し合い、自 分の考えを広げたり深 めたりすることができ る。（読(1)オ）</p> <p>○自分の思いや考えが伝 わるように朗読をする ことができる。（読(1) ア）</p> <p>○作品や文章の中での言 葉の使われ方や表現の 工夫に気づくことがで きる。（伝国(1)イ (オ)・(ケ)）</p>	<p>【関】6年間で身につ けた国語の力を使 い、6年生の最後に ふさわしい学習を自 分の力でしようと している。</p>			<p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が取り組んだ学 習課題とその成果 を聞き合い、自分が 読み取ったことと 比べて、共通点や相 違点に気づき、自分 の考えを深めてい る。</li> <li>・自分の思いや考えが 伝わるように朗読 している。</li> </ul>	<p>【言】文章を特徴づ ける語句と語句との 関係や表現技法の工 夫に気づいている。</p>	
----	---	---	--	--	--	--	--

<p>表現を選ぶ</p> <p>3時間（書②，伝国①）</p> <p>◎話し言葉と書き言葉の違いに気づくことができる。（伝国(1)イ(ア)）</p> <p>○語句の係り方や照応のしかたなどに気づくことができる。（伝国(1)イ(キ)）</p> <p>・目的に応じて書き言葉に表し，表現のしかたや構成に着目して助言することができる。（書(1)カ）</p>						
---	--	--	--	--	--	--

[やまなし]

[<資料>イーハトーブの夢]

○物語を読んで，登場人物の心情や場面の変化，作者の思いを読み取る。